

学 園 だ よ り

太 白 山

(令和 4 年 春号)

宮城県さわらび学園

〒 9 8 2 - 0 2 1 5

仙台市太白区旗立 2 丁目 4 - 1

T E L : 022-245-0333

F A X : 022-245-0515

<https://www.pref.miyagi.jp/sawarabi/>

学園ホームページもご覧ください

「新年度あいさつ」

園長 古川 浩智

四月に園長として参りました。どうぞよろしくお願ひします。

令和四年度は男子十人、女子四人の子どもたちと新年度がはじまりました。また、私を含めて学園と分教室に十四人の新しい先生方が赴任しました。私も早く学園に慣れて、先輩の先生方と一緒に、楽しくより良い学園にしたいと考えていますのでよろしくお願ひします。

さて、新しい年度の始まりにあたり、私の好きな言葉を一つ紹介させていただきます。江戸時代に山形県のお殿様だった上杉鷹山(うえずぎようざん)という人の言葉です。

「為(な)せば成(な)る 為(な)さねば成(な)らぬなにごとくも 為(な)さぬは人の為(な)さぬなりけり」というものです。

早口言葉のようですが、意味は「その気になってやれば、どんなことでもできる。だが、その気になってやらなければ、何事も成功しない。」ということだそうです。

当たり前の事のようにですが、何をやるにしても、まず自分がやろうと思わなければ何も始まりません。また、必

ずやりとげるといふ気持ちが必要で、最後まで続けることは難しいということだと思ひます。

今年度も子どもたちはいろいろなことに挑戦をしていきます。またその中で思い通りにいかなくて、くじけそうになることもあるかもしれません。その時は、この言葉のように、子どもたちに最後までがんばってほしいと思ひております。私も先生方も一緒にがんばりますので、保護者のみなさんも子どもたちへの応援と学園への御協力よろしくお願ひします。

「新年度挨拶」

分教室教頭 阿部博朗

令和四年度がスタートしました。分教室では、今年度の協働型学校評価における到達目標を「原籍校や社会での生活に適応し、心身ともに健康で自立できる人間の育成」としました。さわらび学園の皆様と歩みを一にし、目標到達に向け教育活動を進めてまいりたいと思ひます。何とぞご協力をお願ひいたします。

さて、「令和の日本型学校教育」の答申が示され、「Society.0時代」や「コロナ対策」など、劇的に変わる社会に対応できる資質・能力を児童生徒に身

に付けさせることが教育に求められることとなりました。Society.5.0の説明には、「あらゆるモノがインターネットに接続され(IoT)、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムを活用し、最新テクノロジーを取り入れ、少子高齢化・地域格差・貧富の差などの課題解決を進める」とあります。これらの課題は、解決が決して容易ではなく、プロジェクトチームによる協働体制でなければ解決できないものばかりです。また、情報処理の面で人間の能力をはるかに超えるAIとの共存が欠かせなくなります。

義務教育期間を昭和の時代に過ぎた私にとって難しい内容ばかりですが、一方で、近未来においても、プロジェクトチームの構成員は「AIではなく人間であり、最終的に決断したり評価したりするのもきつと人間なのだと思います。令和の日本型教育は「流行」であり、人間としての内面を磨かせていくことは「不易」です。

目の前にいる児童生徒たちは、情報機器端末やAIを駆使することさえできれば、それでも収入を得ていくことはできるかもしれません。しかし、人としての内面が磨かれておらずプロジェクトチーム内で孤立し、協働体制

が築けないようでは、どんなに収入が得られても潤いがなく、人生はつまらないものになってしまいます。「去華就実」(華を去り実に就く)、「外見(技術面)だけではなく内面を磨くこと」は、今後の分教室の教育活動でも欠かすことができない重要な要素として大切にしていきたいと考えています。

「前へ」

指導班長 内海尚彦

4月に指導班長として着任しました。どうぞよろしくお願ひします。

どんな子どもたちが生活しているのか、子どもたちがどうまくやれるのか、職員をまとめきれぬのかという不安を抱え、見上げると緑の衣をまとった太白山。以前、学園で指導員として過ごした際、悩んだ時は夕暮れに照らされる太白山をよく見上げてました。子どもたちとの関係ができるまで1ヶ月以上かかったこと、一緒に笑ったり泣いたりしたことを思い出しました。子どもたちは新しく来た大人に対してすぐに心を開いてくれません。学園に入所する子どもたちの多くが、人との関係を作るのを苦手としています。痛癢を起こして職員や物に当たる子、その場で固まってしまいう子など、様々

なパターンで表現し、職員はその子の行動を受け止めながら、その行動パターンはどこから来るのかを推測し、本当に少しずつですが、子どもたちが社会で困らないよう言動の改善する手伝いをしていくことになります。本当に根気がいる、時間もかかる我慢比べです。でも、子どもたちが少しでも変わり始めると職員はすごく嬉しくなります。それが職員のモチベーションを保つ一番の元気の素になります。職員も悩みながらの試行錯誤の毎日です。そのためには、職員同士のケアが何よりも重要です。学園職員のチームワークで乗り切れるように「前へ」をモットーに進んでいきたいと思ひます。自分もまた学園で自分自身を見つめ直しながら、子どもたちとともに学園で成長していきたいと思ひます。

「5年ぶりのさわらび学園」

広瀬寮長 見立屋航希

今年4月にさわらび学園に異動となり、広瀬寮長として勤務することになりました。学園には5年前まで8年間勤務していました。また新たな子ども達と一緒にご飯を食べて、体を動かして、向き合って生活していくことを楽しみにしています。

勤務してわずかですが、各々の子ども達の良いところが見えます。「ありがとうございます」笑顔で素直に言える子。夜遅くまで定時制の高校で授業を頑張る子。誰よりも率先してお手伝いをしたり、やるべきことを見つけられる子。就職に向け、慣れない園外での実習をやり遂げた子。植物や動物が大好きで、好奇心旺盛な子。これは良いところのごく一部です。

子ども達は、学園を退園した後、自立に向け頑張っていくことになりました。周囲の支援が必要なのは当然ですが、子ども達それぞれが、学園生活を通して一つでも良いので自信を身につけ、退園後のエネルギーにしてもらいたいと思ひています。

これから子ども達と生活を共にしていく中で、5年ぶりに来たからこそ、学園として向上している点、まだ課題がある点が見えてくると思ひます。子ども達だけに求めることなく、職員として、子ども達が良い環境で、適切に課題に向き合える、活気のある学園を作り上げていけるよう、日々努力していきます。

今年一年間よろしくお願ひします。



お花見子ども会

昨年度に引き続きお花見運動会を開催しました！当日はあいにくの雨となり、体育館での実施となりましたが、児童・職員共に勝ち負けにこだわらず楽しむことができました。今年度は転任・新任の職員が多いため、大人数での開催となりました。特に飽食い競争は、白い粉の中に顔を入れて探すため、真っ白になっていく顔を見てとても盛り上がりました。

新年度最初の行事だったため、職員の準備もバタバタしていましたが、子ども達は楽しく参加してため、とても有意義な時間となりました。

お花見子ども会作文

「花見子供会のこと」

子供会役員のこと」

児童T

僕は子供会役員としても頑張れたと思います。任された仕事を言われた時、あまり緊張しないでできそうだなと思っていました。でもいざ本番になると緊張しました。みんなが笑ってくれたりしてとてもそのとき緊張が少しやわらぎました。一年間、子供会役員として、がんばりたいです。

花見運動会では、アメ食い、パン食

い、水のやつ、玉入れ、つなひきの計5種類やりました。自分が一番おもしろかったのは水のやつです。2寮は9〜10センチぐらい差をつけられて負けてしまったけど工夫をしてやる協力するが大事だなと思いながらそのあとの競技もがんばりました。子供会役員としても工夫の参加者としても楽しくできました。学園の先生方ありがとうございました。

「お花見運動会の感想」

児童Y

お花見運動会がありました。レクリエーションに入る前に、新しくさわらび学園に来た先生の挨拶がありました。そこで一番最初に私が書いた質問がいきなり読まれたので驚きました。たけのこの里とよきのこの山でどっちが好きかという質問に園長先生はきのこと答えました。私と同じ考えでした。

レクリエーションは五種目ありました。中でも、パン食い競争とアメ玉競争が特に楽しかったです。パン食い競争では、勢いをつけ過ぎてパンをぶつとばしてしまいました。夜食で食べるのが楽しみです。

アメ玉競争では、小麦粉の中に入っ

ているアメを口で探しました。粉が口についた瞬間私はむせました。そのおかげで、顔の半分ぐらいが汚れてしまいました。苦しかったです。アメがおもしろかったです。

今後の予定

- ・六月二十九日 地区野球大会
- ・七月一六日 授業参観・保護者会
- ・七月二十八日〜七月二十九日 野外活動
- ・七月三十一日〜八月二四日 夏季休業
- ・八月五日 七夕子ども会

編集後記

新型コロナウイルスも徐々に緩和されていますが、まだまだ活動の制限は続きそうです。

それでも子ども達は輝こうとしており、職員も「この子達のためにがんばろう」と励みになっています。

次号は三年振りに開催予定の野球大会の様子を掲載します。児童達の頑張りを報告できるよう、日々の練習に取り組んでいきます。